

1. 指定道路は、建築基準法（以下「法」という。） 第 42 条第 1 項、同条第 2 項又は、同条第 4 項に規定する他の道路に接続するものであること。
2. 幅員の計り方（別添図－1）
 - イ. 道路の中心線に直角に計るものとする。
 - ロ. 道路幅員は、内のり幅とする。
 - ハ. 幅員は、各部分について 4m 以上とする。
 - ニ. 幅員の一定でない指定道路については、最小幅員、最大幅員を記入する。（例えば幅員が、4.0m～5.0m の場合は、最小幅員 4.0m 最大幅員 5.0m と記入する。）
3. 道路の延長の計り方及び水路がある場合の隅切りのとり方（別添図－2）
 - イ. 他の道路の接続点より測定する。
 - ロ. 指定道路部分の中心線の長さとする。
 - ハ. 公有地（水路、農道等）を含む場合の延長は、公有地部分を含むものとする。
 - ニ. 法第 42 条第 2 項による道路に接続する指定道路の延長は、セットバックした道路のみなし境界線から計るものとする。
4. その他の隅切り（別添図－3）
 - イ. 指定道路が他の道路と接続する部分及び指定道路相互の交差はなるべく直角に近いものとし、60°未満の角度で交差する場合には、底辺の長さが 3m 以上となる二等辺三角形の隅切りを設けなければならない。
 - ロ. 建築基準法施行令（以下「令」という。）第 144 条の 4 第 1 項第 2 号ただし書の取扱いについては、堅固な建築物又は工作物で物理的に移転、除去が困難な場合、あるいはがけ等地形上やむを得ないと特定行政庁が認めた場合とする。
5. 道路の位置

道路の位置は縁石、土留等で区画すること。ただし、側溝等により境界がはっきりしている場合はこの限りではない。
6. 令 144 条の 4 第 1 項第 3 号の取扱いは、原則として舗装とする。
7. 令 144 条の 4 第 1 項第 5 号の取扱いは、次による。
 - イ. 片側 U 型側溝を原則とする。
 - ロ. 原則として、設置する側溝以上の断面をもつ既設側溝に接続するものとする。
 - ハ. 道路内排水のみの場合は、L 型側溝でも可とする。
 - ニ. 既設道路に排水溝がない場合は、排水できるところまで延長し、その間の権利者及び管理者等の承諾書を添付するものとする。

ただし、周囲の状況等により支障がないと特定行政庁が認めた場合はこの限りではない。
8. 転回広場及び区間長・指定延長（別添図－4）
 - イ. 他の道路接続点から、又は転回広場相互間のそれぞれの区間、長さの測定点は、転回広場の中心線とする。
 - ロ. 転回広場の形状、寸法は別途図－4 による。

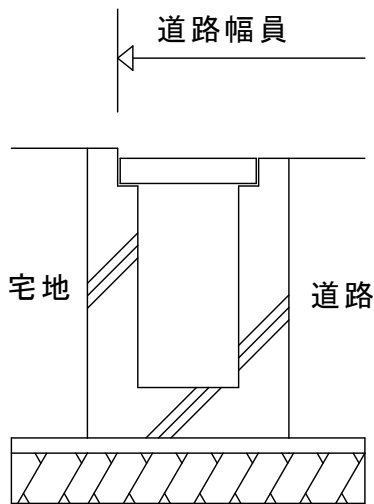
ただし、自動車の転回に支障がないと特定行政庁が認めた場合にはこの限りではない。
9. 道路の廃止及び変更

- イ. 法第 43 条の規定に抵触する敷地が生ずることなく、関係権利者の廃止に対する全員の同意がある場合。なお、要領の（6）の口の規定を準用するものとする。
- ロ. 通り抜け道路の一部廃止は、原則として認めない。
- ハ. 指定道路幅員を変更することは、原則として認めない。
- ニ. 廃止により、路地状となる敷地が生じる場合は、路地状部分の土地の所有及び使用関係を明確にすること。

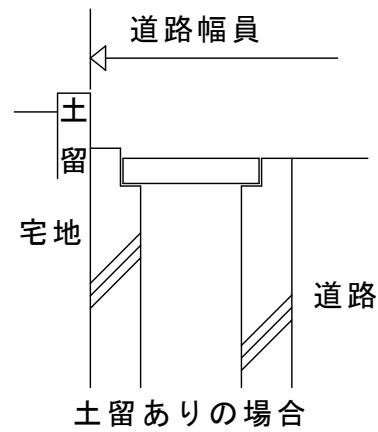
(別添図-1)

指定道路の幅員の計り方

(1) U字側溝、甲蓋有の場合

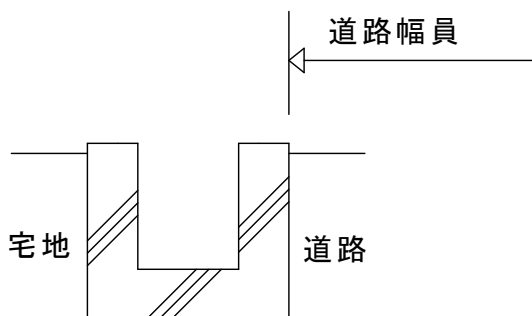


土留なしの場合

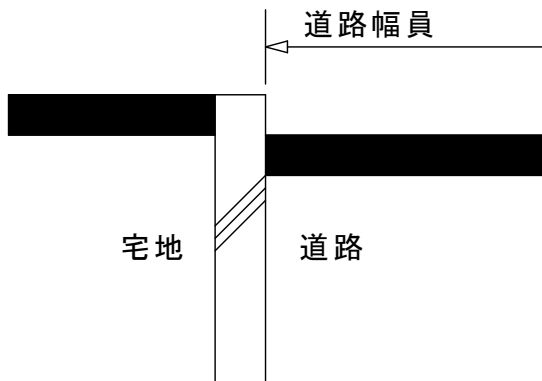


土留ありの場合

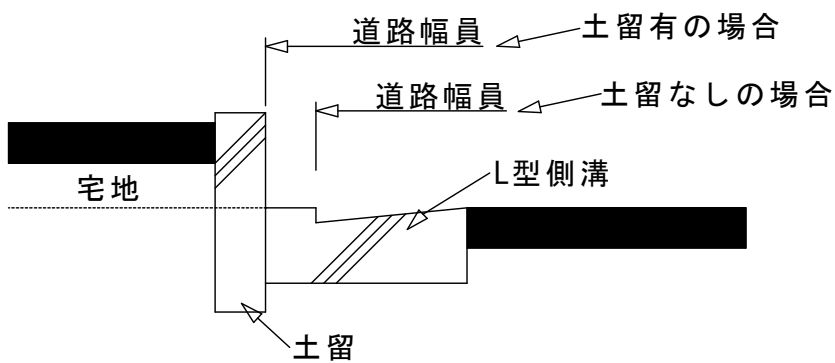
(2) U型側溝－開渠、甲蓋無の場合 (部分的にあるものも含む)



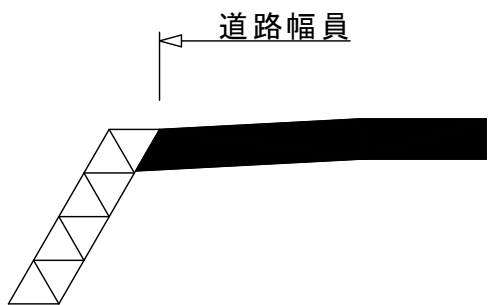
(3) 土留の場合



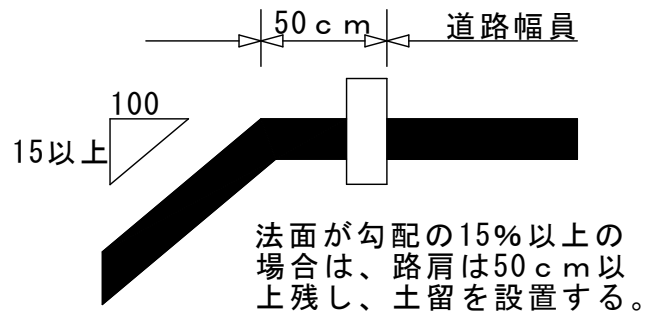
(4) L型側溝の場合



(5) 石積の場合



(6) 土端の場合

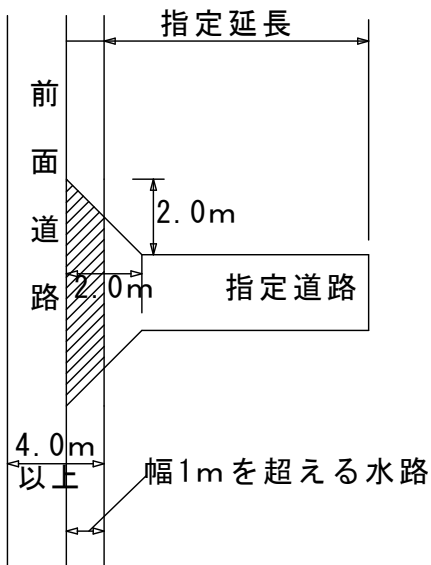
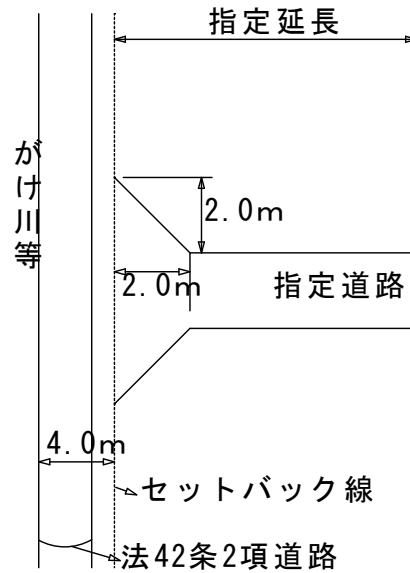
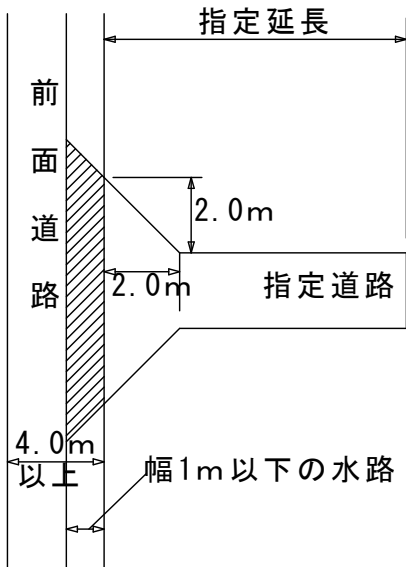
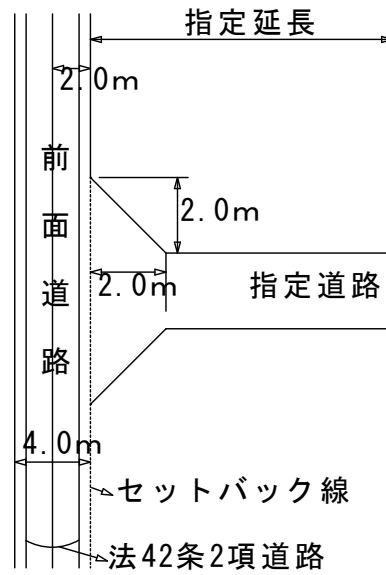
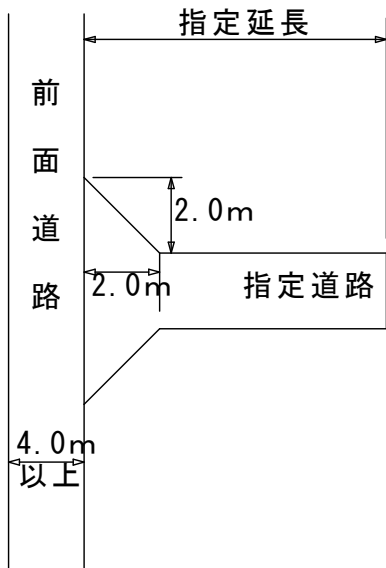



(7) その他

がけ面、切土面、又は盛土面の保護のため擁壁及び芝張等の設計基準については「山梨県宅地開発事業の基準に関する条例第8条」を参考とすること。

(別添図-2)

指定道路の延長の計り方及び水路がある場合の隅切りのとり方

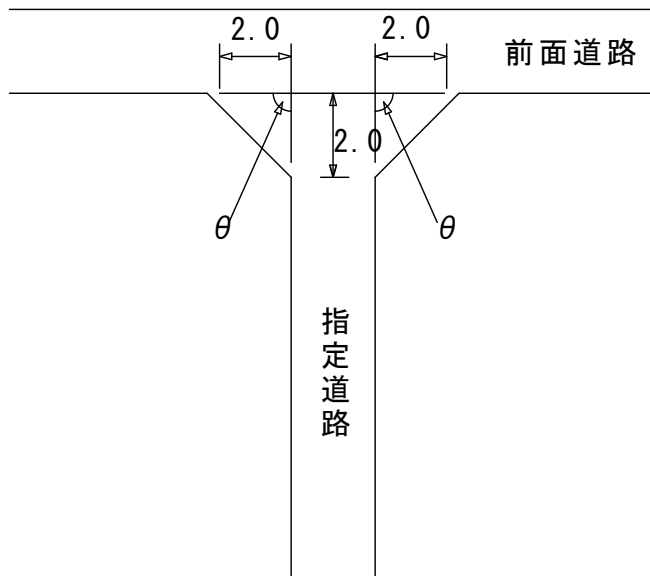


 水路使用部分 (許可書等の写添付)

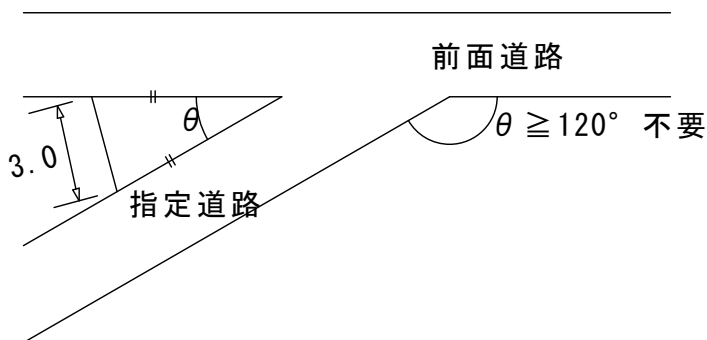
(別添図-3)

その他の隅切り

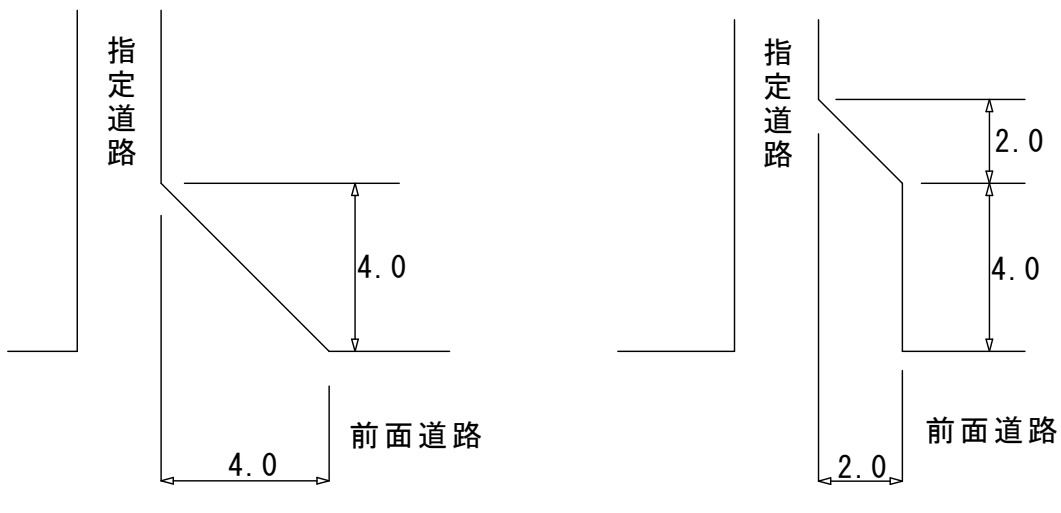
(1) 標準 (交差角 $60^\circ \leq \theta < 120^\circ$ の場合)



(2) 鋭角 (交差角 $\theta < 60^\circ$ の場合)



(3) 建築基準法施行令第144条の4第1項第2号のただし書を適用させる場合の特例

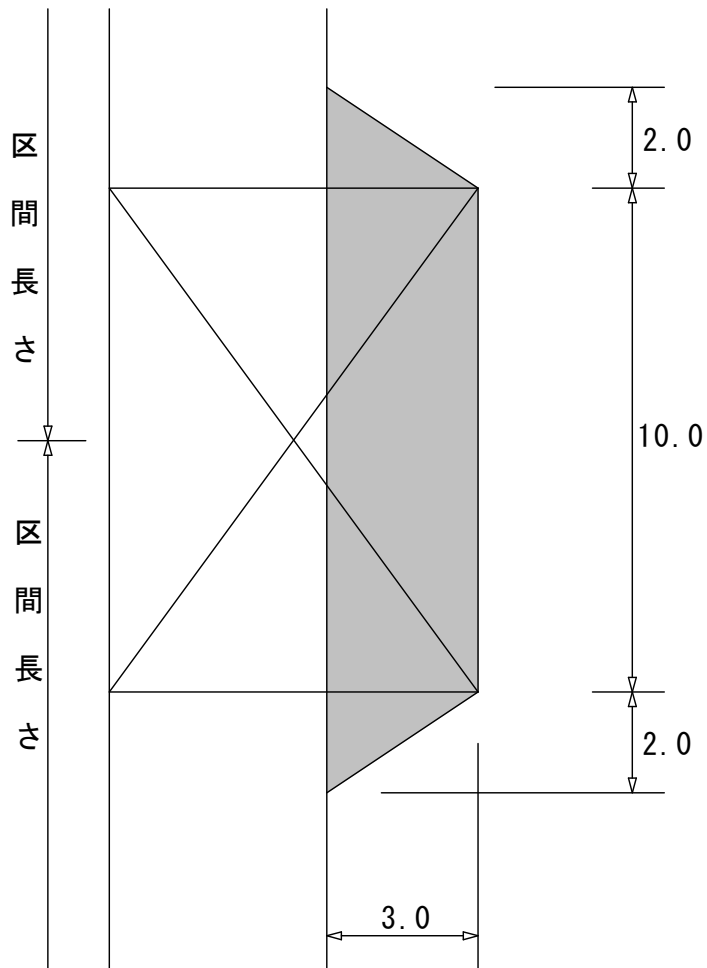
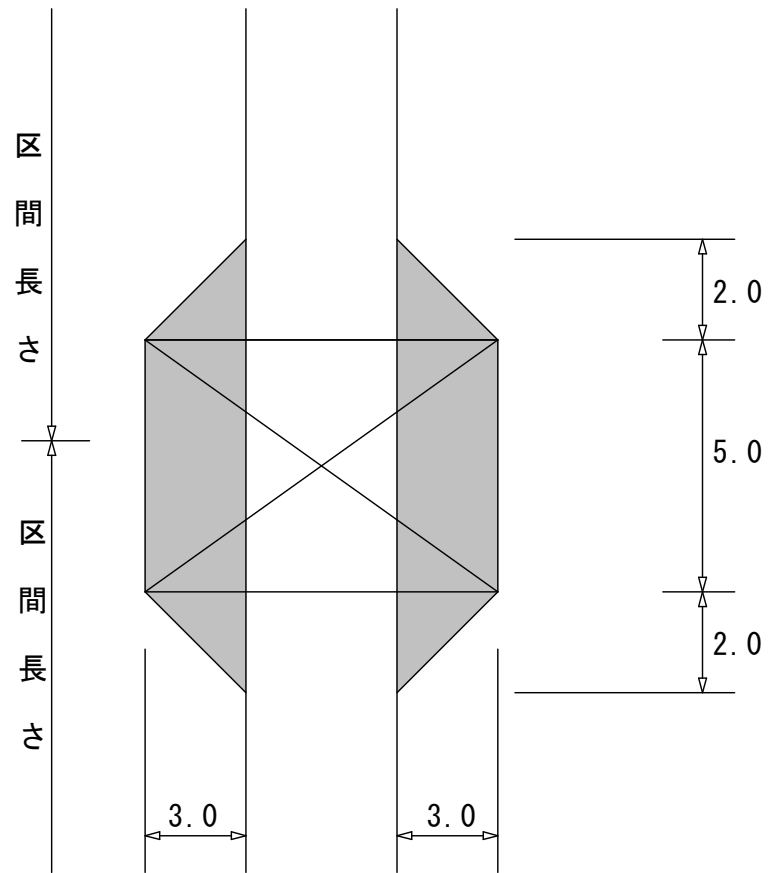
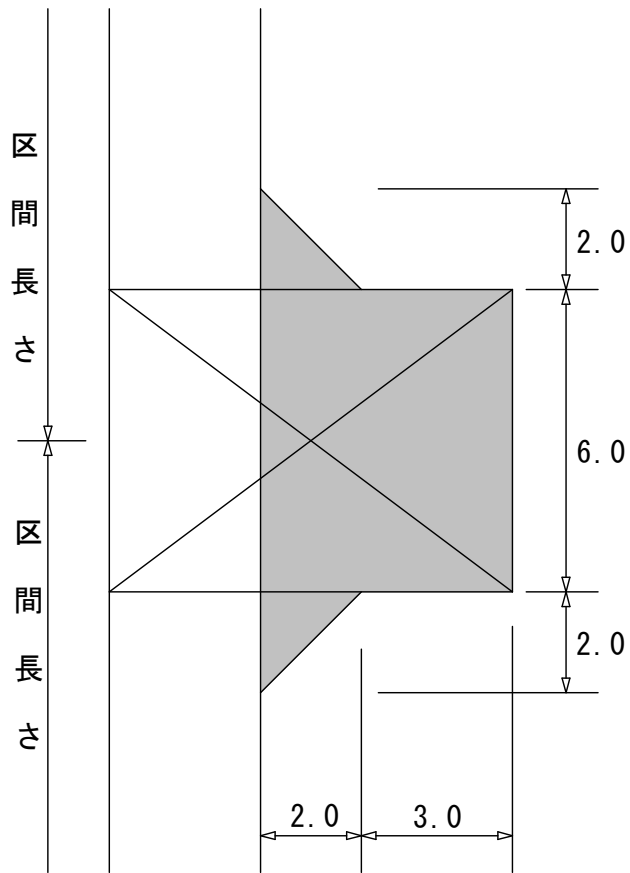


(別添図-4)

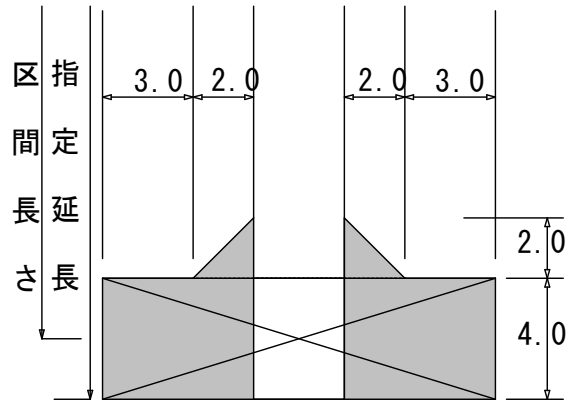
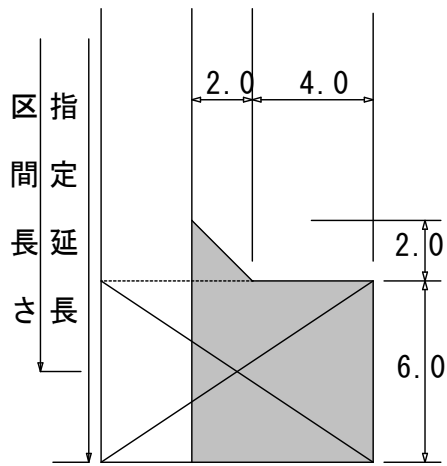
転回広場について


1・形状

ア. 指定道路の中間に設ける場合

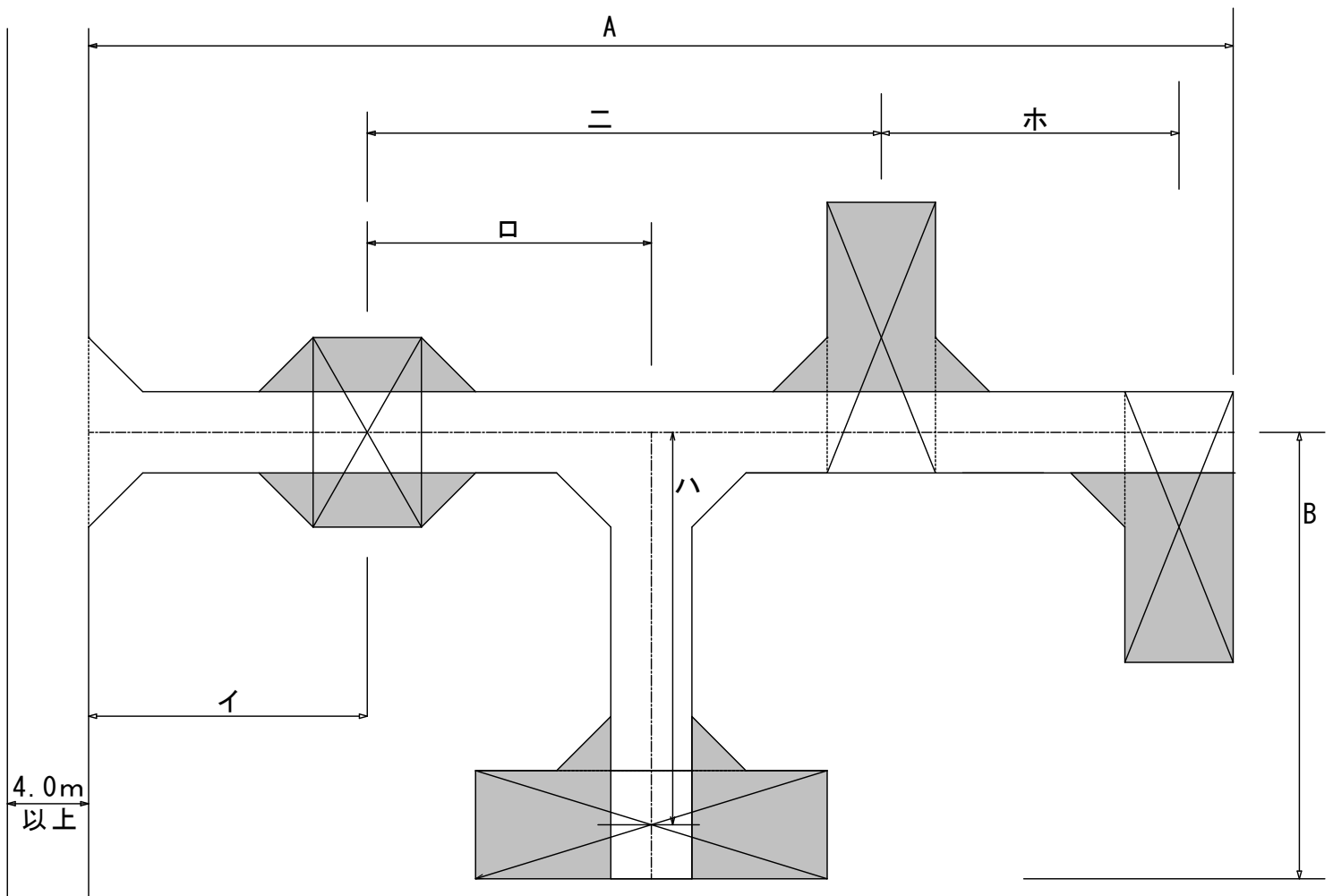


イ. 終端に設ける場合



2.  転回広場の面積 - m²

3. 区間長さ と 指定延長 について



転回広場の区間長さ

イ. 口+ハ、二、ホは各々35m以内とする。

指定道路の延長

A+Bとする。

※その他本書に収録されている取扱基準を参照して下さい。